

都道府県別面積、民有地等

面積は10月1日、民有地は1月1日、その他の項目は3月31日現在の数字である。

都道府県	面積	民 有 地					自然公園 面積	都市公園 面積	緑地面積
		総 数	(内) 宅地	(内) 田	(内) 畑	(内) 山林			
昭和 53 年	377 643.13	160 792	11 253	30 461	25 774	75 422
54	377 682.00	161 189	11 507	30 422	25 820	75 667
55	377 708.09	161 100	11 727	30 323	25 793	75 585
56	377 727.57	161 037	11 949	30 200	25 755	75 630	...	42 507	6 302
昭和 57 年	377 748.43	161 761	12 189	30 114	25 911	76 283	5 293 876	45 130	6 750
北海道	83 517.92	28 565	760	2 598	7 558	11 348	838 013	5 028	1 313
青森県	9 616.81	3 910	206	911	758	1 397	114 879	607	48
岩手県	15 278.17	7 302	214	956	833	4 052	72 385	371	14
宮城県	7 291.37	3 290	273	1 129	391	1 383	189 963	1 116	83
秋田県	11 611.20	3 755	179	1 312	285	1 183	122 973	603	30
山形県	9 326.56	3 543	179	1 046	395	1 543	156 537	589	110
福島県	13 783.33	5 996	286	1 164	926	3 077	170 687	810	28
茨城県	6 093.65	4 168	461	996	1 190	1 284	88 189	793	162
栃木県	6 413.79	3 329	292	1 001	483	1 322	132 695	770	74
群馬県	6 355.61	2 568	283	341	743	957	90 350	1 329	74
埼玉県	3 799.32	2 364	493	531	677	535	120 393	1 565	196
千葉県	5 145.57	3 594	511	971	745	1 082	27 880	1 521	247
東京都	2 156.77	1 093	510	18	149	338	73 598	2 776	659
神奈川県	2 400.66	1 352	484	92	263	376	50 895	1 483	304
新潟県	12 578.31	4 974	335	1 747	437	2 197	328 569	731	27
富山県	4 252.18	1 432	171	699	76	417	117 348	561	40
石川県	4 197.28	1 637	138	478	143	800	49 693	535	19
福井県	4 190.33	1 674	111	449	64	992	61 388	585	78
山梨県	4 463.48	1 289	109	158	304	613	128 311	246	25
長野県	13 584.62	4 754	300	785	844	2 160	276 187	804	82
岐阜県	10 595.75	4 687	253	571	242	3 365	188 007	683	18
静岡県	7 772.98	4 287	414	408	667	2 434	99 152	999	121
愛知県	5 135.55	2 786	624	694	494	798	89 533	2 291	762
三重県	5 777.06	2 938	233	603	263	1 720	206 903	573	95
滋賀県	4 016.00	1 735	156	605	73	823	146 288	273	48
京都府	4 612.88	1 621	172	322	111	948	7 796	716	77
大阪府	1 866.85	905	434	185	56	178	11 708	2 786	718
兵庫県	8 375.15	4 204	425	856	150	2 582	160 258	2 223	214
奈良県	3 692.15	1 479	108	248	84	990	63 327	809	3
和歌山県	4 723.46	2 505	102	227	190	1 952	42 771	315	37
鳥取県	3 492.65	1 401	79	299	164	697	43 441	216	22
島根県	6 627.85	3 272	98	472	190	2 412	41 166	395	-
岡山県	7 087.35	3 657	254	767	306	2 191	63 322	876	113
広島県	8 464.01	4 043	260	614	295	2 728	34 396	1 215	122
山口県	6 102.60	3 166	208	603	193	2 016	40 499	807	116
徳島県	4 145.20	1 860	93	255	199	1 284	38 850	205	41
香川県	1 881.17	1 164	128	334	151	516	16 088	409	75
愛媛県	5 670.33	3 078	169	358	464	2 034	41 195	761	88
高知県	7 106.95	3 263	74	297	177	2 656	47 792	207	13
福岡県	4 955.04	3 018	473	868	329	1 067	90 350	1 739	99
佐賀県	2 433.02	1 460	100	498	227	496	27 951	333	36
長門県	4 109.49	1 839	142	303	480	733	74 618	677	2
熊本県	7 406.76	2 969	225	788	662	985	150 441	486	9
大分県	6 335.02	2 354	153	516	338	971	174 219	394	132
宮崎県	7 734.66	2 330	163	438	466	1 002	83 805	889	153
鹿児島県	9 163.27	4 052	256	575	1 192	1 562	73 270	734	16
沖縄県	2 250.57	1 097	99	28	480	89	25 797	297	8

第 2 章
気 象

第2章 気象

昭和57年は、気温・降水量・日照時間等は平年と比較して大きな変化はなかったが、次のような特徴が挙げられる。
 ①3月及び5月の高温、また低温傾向の夏や暖冬傾向の初冬等、気温の変動が大きかった。
 ②6月13日に梅雨入りとなったが、雨らしい雨は殆んど降らなかった。7月中旬になってやっと雨が降り出し、梅雨明けも平年より10日遅れた。
 ③台風は24個発生し、そのうち10号、13号、18号及び19号の4個が上陸したが、いずれも近畿への直撃は免れた。しかし、台風10号及びそれに続く低気圧により、近畿地方では大和川を中心に大きな被害を受けた。

1 月

前半は移動性高気圧におおわれる日が多く、気温は高目に経過し11日～12日は3月下旬並の暖かさになった。

中旬の後半及び下旬の後半には強い冬型となり、17日は近畿各地に積雪をもたらした。また27日は再び冬型となり第一級の寒気団が南下したため、近畿地方はこの冬一番の低温となり日本海側では1m前後の大雪となった。

2 月

上旬は冬型の気圧配置が続き、気温は平年より低かったが、中旬頃から周期的な天気変化となり、南海上を時々低気圧が東進するようになった。この頃から春近しという気配となってきた。

3 月

中旬の気温は平年よりも3.8℃高く5月上旬並の陽気となった。このため桜の開花も平年より9日も早く23日となった。また5日は低気圧が発達しながら日本海を東進し春一番となった。しかし下旬には寒の戻りに見舞われ、霜による農作物の被害が出た所もあった。

4 月

天気変化は大体周期的だったが、初めのうちは低温気味で、桜前線も足ぶみ状態となった。10日～11日は九州地方を中心に寒気が入り、近畿でも山間部で、5～10cmの積雪をみた。月末は高温でぐずつき気味のゴールデンウィークの幕明けとなった。なお日照時間の212.1時間は4月としては第2位の多照を記録した。

5 月

気温は、月半ばと下旬前半に一時下がったが、月を通してかなり高温となった。天気は初めはぐずつしたが、中頃は移動性高気圧に、後半は太平洋高気圧におおわれ、晴の日が多かった。月平均気温は高い順位の第2位を記録した。

6 月

近畿の入梅は13日(平年8日)だったが、その後移動性高気圧におおわれ晴の日が多く空梅雨を思わせた。また時

々寒気が南下し、特に20日～21日にかけての寒気は強く、近畿の所々でひょうが降り、農作物等被害を受けた。21日は大阪でも局地的な豪雨と共にひょうが降り、出水、落雷、停電等の被害があった。ひょうの降ったのは大阪では24年ぶりの事である。

7 月

6月から続いた少雨傾向は、7月上旬後半になって梅雨前線が北上したため一変して下旬にかけて多雨となった。梅雨明けは遅く27日(平年17日)となった。また月をとおして低温傾向で、特に中・下旬は低く、このため月平均気温は低い順位の第1位を記録した。

8 月

台風10号は近畿の大部分を暴風圏にまき込みながら2日には渥美半島に上陸した。ひき続いて南岸を低気圧が通過したため、近畿地方は大雨となり、大きな被害を受けた。中旬は不安定な天気が続く、雷雨が多かった。27日は台風13号が宮崎県に上陸し、近畿地方は強風が吹いた。下旬は夏型が強まり高温が目立った。

9 月

上旬後半から曇雨天の日が多く、特に中旬以降は休日や週末の悪天が目立った。12日は台風18号が御前崎に、25日は台風19号が宇和島付近に上陸し、近畿地方では風雨が強かったものの被害は少なかった。気温は上・中旬共低温で経過し、下旬は平年並に戻ったが、月平均気温は平年より1.2℃低く、低い順位の第4位を記録した。

10 月

7月～9月にかけては低温傾向だったが、10月はやっと平年並に戻った。上旬は北高型の気圧配置で天気はぐずつしたが、その後周期的変化となった。しかし25日は一時冬型の気圧配置となり寒くなった。なお下旬は晴天が多く、21日～30日にかけては無降水日が続いた。

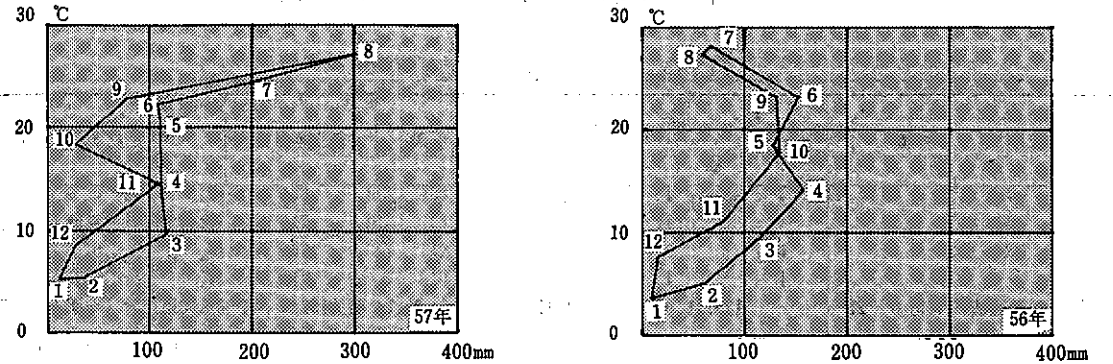
11 月

冬型の気圧配置が少なく、日本付近を低気圧が周期的に通過した。このため比較的曇雨天の日が多く、気温は高目に経過した。月平均気温は各地共高く、大阪では高い順位の第2位を記録した。しかし下旬には今寒候期初めての本格的な季節風が吹いた。

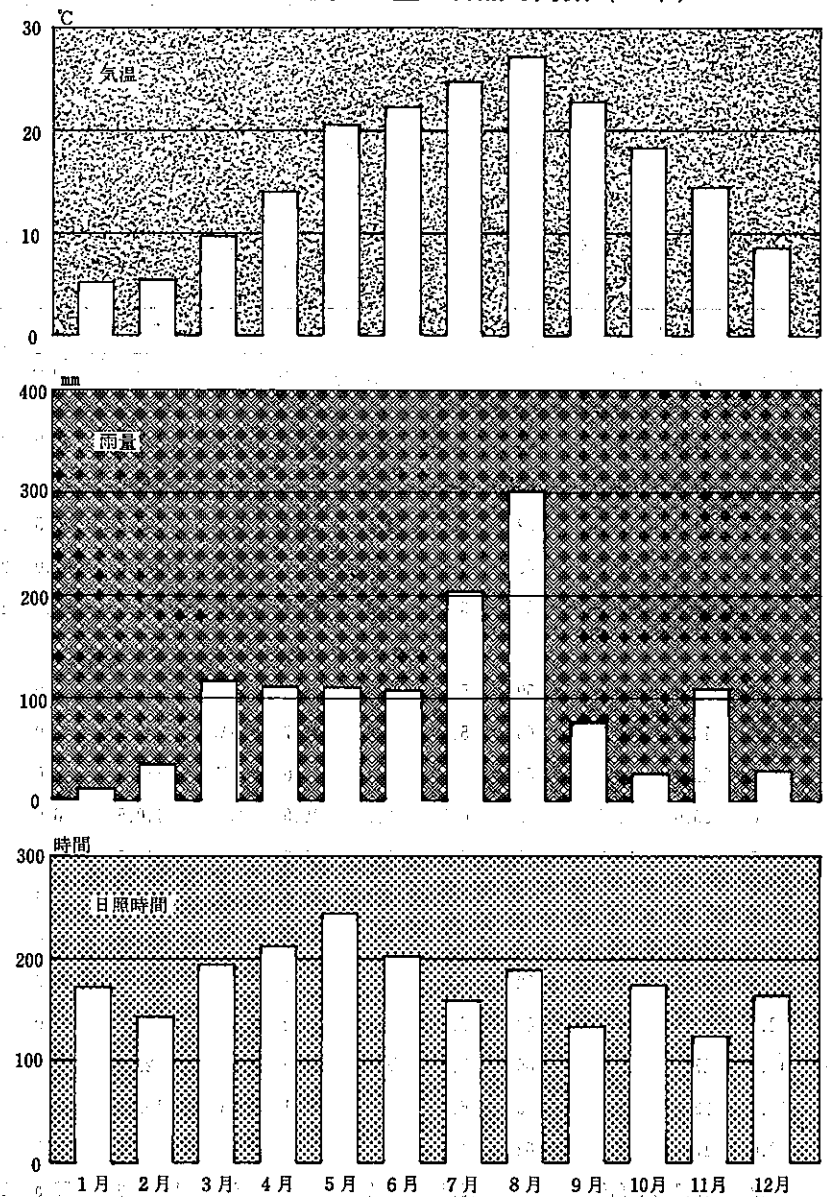
12 月

時々冬型の気圧配置となったが、長続きしなかった。下旬は大きな気圧の谷の影響でぐずつした時期もあったが、天気は大体周期的に変化し、比較のおだやかな日が多かった。月平均気温は8.6℃で11月に引き続き高目に経過し、1979年以来、初冬としては暖かった。

気温と雨量の関係



気温と雨量と日照時間数(57年)



第 1 表 大阪管区気象台

本表は「地上気象観測原簿」によるものである。

Table with 5 columns: 位置, 経緯度 (東経, 北緯), 海面上高, 創立年月日, 主要材器の位置. Data for Osaka Regional Meteorological Station.

資料 大阪管区気象台調査課調

第 2 表 気 象 概 況

本表は大阪管区気象台での観測概況である。平均気温は1日8回の平均値から、平均湿度は相対湿度ともよび1日4回の測定値からその日の平均値が計算される。雲量は全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした基準、平均風速は0時~24時の全風程から求められている。平年各欄のうち※印は過去における最高最低及び最大値である。()内は、平年値である。

Table with 12 columns: 年月, 平均気圧, 気温 (平均, 最高, 最低), 平均湿度, 雲量, 風速 (平均, 瞬間最大, 風向), 降水量 (総量, 最大時量), 日照時間, 有感地震. Data for 1953-1957 and annual averages.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 3 表 天 気 の 概 況

本表は大阪管区気象台での観測結果による日数である。ただし、55年以前は雲量<2.5、雲量≥7.5の数値である。

Table with 17 columns: 区分, 昭和54年, 昭和55年, 昭和56年, 昭和57年 (1-12月), 年. Data for various weather conditions like precipitation, snow, fog, etc.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 4 表 地域気象観測所の平均気温

本表は府下の各地域気象観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた平均値である。

Table with 17 columns: 観測所, 昭和54年, 昭和55年, 昭和56年, 昭和57年 (1-12月), 年. Data for average temperatures at various locations like Nishinomiya, Toyonaka, etc.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 5 表 地域気象観測所の降水量

本表は府下の各地域気象観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた合計値である。×印は欠測。

Table with 17 columns: 観測所, 昭和54年, 昭和55年, 昭和56年, 昭和57年 (1-12月), 年. Data for precipitation at various locations.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 6 表 全国気象官署別気象概況(昭和56年)

本表の「相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測を、「気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均雲量2.5未満をいい、「最大風速」は任意の10分間平均風速の最大値である。

Table with columns for 気象官署, 気温 (年間最高値, 年間最低値, 年平均), 相対湿度 (年最小値, 年平均), 日照時間 (年, 年間), 降水量 (年, 年総量, 1日最大値), 快晴日数, 最大風速, 最深積雪. Rows list various regions like 北海道, 東北, 関東, etc.

第 3 章 人 口